



第3編 基本計画

第1章 たむら「人」「郷」「夢」プロジェクト

第2章 基本施策

第3章 地域別将来像

第1章

たむら「人」「郷」「夢」プロジェクト



たむら「人」「郷」「夢」プロジェクト

“たむら「人」「郷」「夢」プロジェクト”の趣旨

“たむら「人」「郷」「夢」プロジェクト”は、基本計画のうち、まちづくりを重点的にリードする計画について、まちづくりの基本理念の核になる「人」「郷」「夢」のテーマごとにまとめたもので、新市田村市の明日を創る戦略的なプロジェクトと位置づけます。

1. 「人」づくり重点プラン
2. 「郷」づくり重点プラン
3. 「夢」づくり重点プラン

1

「人」づくり重点プラン

田村市の将来のまちづくりを担うのは、ここで育つ子どもたちです。しかし、教育、安全、産業、食生活など子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況にあります。子どもたちが住み続け、希望のもてるまちを市民が一丸となって創り上げていきます。

また、子どもたちを地域のみんなで愛情をもって育てていく環境づくりをはじめ、スポーツや国内外の交流、学習、地域コミュニティを通じ、心もからだも健康で、一人ひとりの個性や感性、能力を発揮できる仕組みづくりや人材の育成に努め、将来を担う「人」づくりに取り組みます。



未来を担う子どもたち

< 施策 >

①子育て支援施策の充実

- ・ 保育料、入園料、医療費など子育ての経済的負担の軽減
- ・ 子育て支援のためのファミリーサポート組織の育成・支援

②保育施設等の整備

- ・ 幼保一体化施設、未設置地域への保育所設置、子育て支援センター等の整備推進

③学校規模・配置の適正化

- ・ 少子化に伴う複式学級解消に向けた学校規模の適正化推進による教育環境の整備

④教育内容の充実

- ・ 外国語指導者の派遣や海外派遣事業等の充実など国際化に対応した人材育成
- ・ 高度情報化に対応した情報教育の推進
- ・ 県立船引高等学校への支援の充実と県立特別支援学校等の誘致促進

⑤青少年健全育成活動への支援

- ・ 家庭・学校・地域の連携を深め、子どもを健やかに育むための地域コミュニティの形成と活動支援
- ・ 地域文化を次世代に受け継ぐための子ども会等を中心とする地域ぐるみの伝承事業の推進

2

「郷」づくり重点プラン

人口減少・高齢社会を迎え、持続可能な自立した地域社会を構築するためには、地域の活力を高める必要があります。

本市の発展を支えてきた農林業や商業など産業の価値を見つめ直し、知恵を出し合い、地域の特性を活かした様々な取り組みが不可欠です。

また、安全で安心できる快適な生活は市民みんなの願いです。そのため、防犯、防災、救急医療などの環境整備に向け、市民、事業者、行政が一体となってその実現を目指します。



ピーマンの収穫

<施策>

①収益性の高い農業の推進と活力のある林業の推進

- ・作物のブランド化・高付加価値化、多様化する消費者ニーズに対応した産品開発の促進、販売網の整備と地産地消の推進
- ・山林の適正管理と間伐材等の有効活用による特産品化の推進

②魅力ある商業の育成

- ・中心市街地活性化基本計画に基づく船引駅周辺の道路・駐車場等の整備推進
- ・消費者ニーズに対応した異業種連携による魅力ある商店街の形成支援

③企業誘致の促進と雇用の確保

- ・西部工業団地への企業誘致促進
- ・企業ニーズを反映した小区画のオーダーメイド型工業団地の検討
- ・地域職業相談室を活用した情報提供と雇用促進

④豊かでうるおいのある住環境の整備

- ・市民ニーズの高い高速通信回線の整備と携帯電話不通話地域解消事業の推進
- ・地域防犯体制の充実に向けた警察署誘致活動の推進
- ・医療施設の広域的な連携による休日、夜間等の救急医療体制の充実
- ・公共施設等のバリアフリー化と高齢者や障害者の自立した社会生活の支援
- ・分かりやすい情報伝達と景観に配慮した公共施設や道路標識など公共サインの整備

3

「夢」づくり重点プラン

広大な阿武隈山系に抱かれ、その清らかな水が様々な命を育てている本市には、先人から受け継がれた文化や伝統、地域コミュニティが息づいています。市民すべてがこのまちを愛し、いつまでも「夢」をもつことが大切です。

そのためには、市民が一体となって地域コミュニティを形成し、市民との協働により新市のまちづくりに取り組みます。



パラグライダー

< 施策 >

①一人ひとりを大切にされた快適な生活環境の創造

- ・市民の提案制度やワークショップ※¹など市民参加によるまちづくりの推進
- ・すべての市民に優しいユニバーサルデザイン※²行動計画の検討
- ・男女相互の人権を尊重し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の推進

②地域コミュニティの保存と育成・地域資源の有効活用

- ・地域振興基金を活用した地域文化の保存と継承など、自主的なまちづくり事業の支援
- ・市民が気軽に参加し、運営する交流事業など多彩なイベントの支援
- ・市内観光資源のネットワーク化による地域間交流の促進と新たな地域文化の創造
- ・U・J・Iターン等を受け入れる定住環境の充実と新たな転入者の地域コミュニティ参加促進

③自然環境の保全と継承

- ・ごみ処理の効率化とリサイクル推進のための資源回収活動の支援
- ・新エネルギーの利用促進と省エネルギーの推進による環境負荷の軽減

※1：ワークショップ

地域づくり活動における住民参加の手法として、参加者自身が地域の課題を把握・共有化したうえで、地域の将来像等を話し合う手法。

※2：ユニバーサルデザイン

身体障害者や高齢者を含む多くの人々が利用できるよう最初から意図して、建築や機器、身の回りの生活空間等をデザインすること。

